

保護者様

全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

心地よい秋風が吹き抜ける秋天の候、皆様におかれましてはご清福のこととお慶び申し上げます。さて、全国の6年生児童を対象に4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果をもとに分析した「本校の状況」について報告させていただきます。

<全国学力・学習状況調査の目的>

- (1) 全国の小中学校児童生徒の学習状況について、分析的・総合的に把握し、教育施策に活用するとともに、児童生徒の学力向上などに生かす。
- (2) 各学校においては、自校の一人ひとりの学習状況をとらえ、教科指導や教育評価の改善及び、個に応じた指導の充実などに生かす。
- (3) 児童生徒においては、学力向上のために自らの学習状況をとらえ、学習の改善などに生かす。

<本校の各教科・観点別の調査結果>

桜岡小学校6年生(4月) 平均正答率(%)

	国語	算数
桜岡小学校(全国との差)	70(+3)	67(+4)
横浜市	67	65
神奈川県	66	63
全国	67	63

<考察>

国語では平均正答率が全国平均と比べ+3%、算数では+4%とかなり上回るという結果となった。

観点別に見ると、国語は、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」に関して全国平均を上回っていた。国語に対する質問では、「立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている。」「書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。」と答えている児童が全国平均に比べ多かった。本校では、「学び合いの中で自分の思いや考えを深められる子の育成」を重点研究の主題として取り組み、友達同士自分の考えを伝え合い学び合っている成果が表れていると考えられる。しかし、「書くこと」に関しては、全国平均を下回っていたので、自分の思いや考えを文章に書き表す取り組みを様々な教科で行っていく。

算数では、「数と計算」、「図形」、「変化と関係」、「データの活用」の全ての観点において上回っていた。算数に関する質問では、「算数の勉強は好き。」「授業の内容はよく分かる。」が多かった。引き続き、児童が興味関心をもち、自ら進んで問題解決に取り組めるような授業を行っていく。

英語に関する質問では、「英語の勉強は大切。」「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたい。」が多かった。これからも英語に親しめる環境を整えていきたい。

児童質問紙からは、「人の役に立つ人間になりたい。」「学校に行くのは楽しい。」「いじめはどんな理由があってもいけない。」「自分と違う意見について考えるのは楽しい。」と答えた児童が多かった。これらのことから、本校児童は周りの友達のことを思いやり、話し合い活動などを通して友達の意見を取り入れながら自分自身を高めていることが伺える。しかし、「読書が好き。」「学校図書館や地域の図書館によく行く。」という点では全国平均より低かったので、読書の魅力を感じられるような取り組みをしていきたい。

[児童生徒]
児童質問紙(全国基準)

